

## (準備研究)

# 長野県の木工文化と「農民美術」： 3Dスキャンによる造形文化の研究

石川 義宗\*

Yoshimune ISHIKAWA

## 1. 研究目的と研究計画・方法

### 1.1. 研究目的

本研究は上田市でおこった伝統的工芸品「農民美術」について、その造形を整理、分析することを目的にした。上田市立美術館に所蔵されているおよそ100点の木彫人形の保存状態は良く、目録も作成されているものの、基礎研究はほとんど行われていない。そこで本研究は「農民美術」の研究基盤の整備を行うとともに、学会発表を通じて国内外から意見聴取することを目的にした。

### 1.2. 研究計画・方法

現在、美術史の研究において重要なものは作品の造形と色彩を記録したデータベースである。かつては写真や図面などが用いられていたが、情報の正確さから3Dスキャンによるデジタルデータを用いることが増えてきた。そこで、「農民美術」3Dスキャンのテストを行う計画を立て、データの精度、作業工程の検討、データの管理方法の検討を行った。

3Dスキャンのテストを2度にわたって行った。令和元年7月に上田市立美術館から農民美術の実物を借用し、千葉大学の設備と機材を用いた。また、令和2年1月に千葉大学のスタッフが上田市立美術館を訪れて作業を行った。これにより、効率的な作業工程を検討した。

## 2. 研究成果

3Dスキャンに直接関係した研究成果はまだ出ていない。ここでは「農民美術」の基礎研究として雑誌論文2件、学会発表3件の内容を説明する。

### 2.1. 雑誌論文

(1) 「Diagram of Modern Definitions of Craft: The Figurative Behaviour of Craft in the Japanese Folk Craft Movement」

農民美術の学術的基盤を整理するために、その展開を「教養の受容」「表現の発芽」「生活への応用」の3つの段階に整理している。また、この整理によ



農民美術の3Dスキャンのテスト (左から一番目：千葉大学工学部にて、二番目：上田市立美術館内 所蔵室にて、三・四番目：3Dデータ)

\*企業情報学部准教授

て農民美術にデザイン思考に近い性質があったことを指摘し、革新的だった部分を説明している。

(2)「農民美術のデザイン 農民たちの意匠図を巡って」

『農民美術・児童自由画100年展』（上田市立美術館）の展覧会カタログに寄稿したものである。農民美術の造形の特徴を意匠図（図案）から考察した。また、意匠図から農民たちがどのようにデザインを発展させたのか明らかにしている。

## 2.2. 学会発表

(1)「農民美術におけるアマチュアの性質」

山本県の農民美術運動は柳宗悦の民芸運動に先んじて大正時代に始まった。その工芸作品と運動は地域における近代的な大衆文化と消費社会に沿うかたちで進展し、変化し、表現における通俗性、手仕事と機械加工の中庸性、運動における趣味性など、民芸の主要概念とは異なる性質を持った。本発表ではそれらをアマチュアの性質として捉えたい。それは村の日常の中に留まり、労働において醸成され、農民たちを癒した芸術の姿である。

(2)「農民美術による工芸の概念的拡張」

「工芸」という言葉や概念が日本では明治末期に国策として普及したことに注目し、上田市で作られた農民美術の独自性を説明している。「工芸」は輸出品の生産を目的の一つにしていた。農民美術にも同様の観点が見られるものの、農民たちは美術的教養としてそれを享受しており、営利目的の産業として限定することはできない。

(3)「農民美術運動における構成」

山本県が農民美術のデザインをどのように構想したのか明らかにしている。山本が記した私論に注目し、「数的価値」といった考えを紐解く。また、自由学園（東京）の美術科のカリキュラムにおける「構成」の位置づけが変化していることから、山本がデザインについて試行錯誤していた様子を捉える。

(4)「Diagram of Modern Definitions of Craft: The Figurative Behaviour of Craft in the Japanese Folk Craft Movement」

(同名論文の学会発表)

## 研究発表（令和元年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（ 1 ）件

著者名	論文標題			
石川義宗	Diagram of Modern Definitions of Craft: The Figurative Behaviour of Craft in the Japanese Folk Craft Movement			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
IASDR 2019	あり	-	2019	1-11

〔学会発表〕 計（ 4 ）件

発表者名	発表標題	
石川義宗	農民美術におけるアマチュアの性質	
学会等名	発表年月日	発表場所
藝術学関連学会連合第14回公開シンポジウム	2019年6月8日	国立国際美術館
発表者名	発表標題	
石川義宗	農民美術による工芸の概念的拡張	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本デザイン学会第66回研究発表大会	2019年6月28日	名古屋市立大学

発表者名	発表標題		
石川義宗	農民美術運動における構成		
学会等名	発表年月日	発表場所	
意匠学会第61回大会	2019年8月8日	滋賀県立大学	
発表者名	発表標題		
石川義宗	Diagram of Modern Definitions of Craft: The Figurative Behaviour of Craft in the Japanese Folk Craft Movement		
学会等名	発表年月日	発表場所	
IASDR 2019	2019年9月4日	マンチェスター美術大学 (イギリス)	

## 〔図書〕 計(1)件

著者名	出版社			
石川義宗	農民美術・児童自由画100周年記念事業実行委員会(上田市など)			
書名			発行年	総ページ数
農民美術・児童自由画100年展(展覧会カタログ)			2020	46-48